

第 21 回汚職防止刑事司法支援研修に参加して

証券取引等監視委員会 証券調査官 村上 薫

1. 突然のお誘い

担当) アジケンに行ってみませんか？

当方) アジケン？鯨？魚か何かの研究機関ですか？

担当) 海外の友人もできるし、英語の勉強にもなるから・・・

最初に研修参加のオファーを頂いたときに、正直、何の組織、何の研修なのかわからず、一応説明は受け続けるものの、謎に包まれたままの状態、一方で、何となく面白そうだと感じたこと、担当者の熱意にも後押しされ、「わかりました」と不思議な状態のまま、本研修に参加することとなりました。

2. 本研修と証券取引等監視委員会の関係

私の所属する証券取引等監視委員会（以下「監視委」という。）は、インサイダー取引といった証券犯罪を調査する組織なのですが、汚職防止研修とどう関係するのかよくわからず、何をすればいいのか、知識もない私が大丈夫なのかというのが最初の印象でした。

その後、研修を進めていくにつれて、汚職といっても、時代劇でよく見る、悪代官が越後屋から賄賂を受け取るといった典型的な形態から、官制談合、官僚への接待など、実は幅広く定義することができると認識するようになりました。

つまり、公務員がその地位を利用して不正に財をなす、便益を受けるということを汚職と定義すれば、監視委の所管するインサイダー取引規制についても、会社関係者等（公務員も対象となりうる）がその地位を利用して不正に財をなすという意味で、その

調査手法，防止のための取組みについて，かなりの部分で共通することが多いことがわかってきました。

3. 研修について

約6週間に及ぶ研修では，各国参加者個人々人によるプレゼンや国内外の専門家による講義，広島・京都視察旅行等，盛りだくさんの内容でしたが，前記のとおり，監視委業務と通じることが多かったこともあって，講義の内容も大筋理解できた一方で，長年見続けてきた金融業界及び金融関連法制とは異なるアプローチで物事を見ることができ，全てが新鮮で，毎日，今日はどんな講義だろうと楽しみに受けることができました。

特に，香港 ICAC (Independent Commission Against Corruption) の講義は驚きました。アニメを通じて（日本で言えばアンパンマン），子供の頃から，汚職をしてはいけないということを教育するなど，あらゆる手段を駆使しながら，国家をあげて，ここまで汚職防止に取り組んでいる組織を私は初めて聞きました。

私は直近まで，違反の摘発にとどまらず，予防にも力を入れる取組みをしていたのですが，香港の取組みは全てが新鮮で，私の中でベストプラクティスを描くことができました。圧倒的な予算の差という，どうしようもない壁はありますが，その中でも，監視委としてできることを取り入れていきたいと強く思いました。

4. 研修生とのリレーション

今回の35名の研修生について，母国に帰ればかなりハイクラスな人から，まだまだ見習い中の人まで様々な立場の人がいましたが，研修中はみんなフラットな立場で接しました。

私は，証券関係の国際会議や研修に何度か参加したことがありますが，いずれも数日間で，お互いの顔を認識できるレベルまで

は行けても、短期間でかつ、会議中だけの関係ですから、腹を割った関係を築くことは難しく、性格まで含めて理解しあえる友人を持てているとは言えません。

今回は、6週間、研修時間中はもちろん、研修が終わった夕方以降、土日も含めて寝食を共にし、極めて濃厚な関係を築くことができました。リーダー的なN、カメラマンW、いたずらっ子のP、お茶目な忍者T、わがままなKなどなど、ビジネスを超えフラットな立場であったからこそ分かり合えたお互いの性格、友人関係、本当に貴重な財産です。研修後も、常にワッツアップに誰かが近況をアップしており、この関係はずっと継続できると確信しています。

また、実は、ちょうど2019年にシンガポールに行く予定があるのですが、この機会を活用してマレーシアまで足を伸ばし、カメラマンWさんと（感動の）再会を果たしたいと今から楽しみにしています。

5. 最後に

本研修に際しては、アジ研及びACPF（アジア刑政財団）の皆様には大変お世話になりました。我々日本人研修生は最高のホスピタリティで海外参加者に接するよう努力しましたが、その活動を暖かくサポートしていただき、研修生とアジ研・ACPFの皆さんが一丸となって研修を盛り上げていくことができたと思います。

今振り返って、わずか6週間でしたが、貴重な時間をすごすことができ、UNAFEIファミリーの一員となれたことに心から感謝したいと思います。ありがとうございました。